

米国 フェアトレード・アメリカがバナナの最低価格を引き上げ

The Packer 2023年10月17日

時として、値上げは歓迎すべきニュースとなりうる。ニュースリリースによると、フェアトレード認証の実施機関であるフェアトレード・アメリカは最近、生産コストの高騰に追い付くため16のバナナ生産国でフェアトレード最低価格を見直した。このフェアトレード・インターナショナルの米国部門は、バナナの最低価格を引き上げただけでなく、フェアトレード生活賃金格差対応を導入した。これは、企業が生活賃金格差の解消に向けて有意義な行動をとれるように設計されたツールである。

フェアトレード・アメリカのアマンダ・アーチラ事務局長はリリースで、「気候変動、労働者の権利、生活賃金は、米国の消費者にとってこれまで以上に最優先の事項である。サプライチェーン全体を通じて意味のある変化をもたらす時である。バナナ生産者の差し迫ったニーズに対応する公正な価格に継続的に焦点を当てることで、今後何年にもわたって持続するバナナ産業を創出できると楽観視している」と述べている。

リリースによると、これらの価格の見直しは、生産者、取引業者、小売業者など165を超える利害関係者との協議と生産コスト調査に基づいて行われた。フェアトレード・インターナショナルのバナナ担当上級アドバイザーであるシルビア・カンポス氏はリリースで、「価格は、生産者と労働者にとってより公正な取引条件を形成する上で重要な役割を果たす。スーパーマーケットのレジでバナナに支払われた価格は、サプライチェーンを遡り、バナナを栽培する労働者や農家に波及効果をもたらす。特にこれらの生産者は彼らの制御の及ばないコストの増大に直面しており、ことわざにあるように価格がすべてである」と述べている。

リリースによると、この根本的な見直しは、生活賃金と回復力のあるバナナサプライチェーンの両方を達成可能にするように設計されており、ツールキットは、青果物の購入者と小売業者が今日のダイナミックな市場で農場労働者とバナナ生産をより適切にサポートできるようにすることを目的としている。フェアトレード最低価格指数、生活賃金参考価格ガイド、フェアトレード生活賃金格差ツールの3つが更新された。

バナナの生産コストの上昇に追いつく カンポス氏はリリースで、「バナナの生産コストは主要な部分が大幅に変化していることがわかった。例えば、全生産コストの約半分を占める賃金は15%近く上昇した。フェアトレードはこれらの変化を継続的に監視し、現場のバナナ生産者の現実を反映するように価格を調整する」と述べている。1996年以来、フェアトレードの最低価格とプレミアム価格のモデルは、バナナ生産者のセーフティネットとして機能してきた。リリースによると、フェアトレードのプレミアム価格だけでも、2015年以来2億5,900万ドル以上の資金をバナナ生産者にもたらした。

エクアドルのバナナ輸出業者協会の事務局長であり、バナナ組合連合会のコーディネーターであるホセ・アントニオ・イダルゴ氏はリリースで、「このフェアトレードのメカニズムは、バナナ産業の持続可能性と公平性を確保する上での重要な前進を反映している。それには、公正な労働基準、環境的持続可能性、社会的責任などの重要な要素が含まれる。この包括的なアプローチは、バナナ生産の複雑な性質を認識し、生産者が社会的・環境的持続可能性を達成しながら財政的義務を果たせるようにするものだ」と話す。

影響を追跡するためのツール フェアトレードはその価格ツールに加えて、商業的パートナーに対し一連の技術情報とともに報告・監視ツールのパッケージも提供している。リリースは、これらのツールは、より公正な価格の支払いが、労働者が生活賃金を稼ぐのにどれだけ役立ち、農家や大規模農場の所有者が農場での持続可能な農法に支出するのをどれだけ支援するかを測定・視覚化するように設計されているとしている。

エクイフルーツ社(カナダ)のキム・チャッカル営業販売部長はリリースで、「弊社では、創業当初から100%フェアトレードブランドの約束をしてきた。バナナのサプライチェーン内の公平性を確保するためには、我々がルールを設定したり、自身の進捗状況を評価したりしない枠組みの中で運用することが重要である。フェアトレード基準は明確であり、最低価格は持続可能な生産のコストを反映するように毎年見直される。小売業者が慣れ親しんでいる価格設定は、バナナ農家にとって持続が不可能なほど低いものである。フェアトレードの枠組みは、当社のビジネスモデルの透明性とトレーサビリティに自信を与えてくれる」と述べた。

執筆者: クリスティン・リー・ロア